

STEP 1

要点集中！
決算書の見方研修

STEP 2

損益分岐点からはじめる利益計画・資金計画研修

ビジュアルで理解する貸借対照表（キャッシュ体質図）・
経営に欠かせないキャッシュフロー計算書の概略研修

解説

- ★3つの研修を受講することで
財務管理の知識が身に付きます
- ★それぞれ単独で受講することができますので、学びたい研修を選択してご受講ください

財務研修 STEP 2-1

損益分岐点からはじめる 利益計画・資金計画研修

WEB
開催

利益の力ぎをにぎる損益分岐点について、事例解説を交えながら習得します。特に、利益を上げるためにの方策や改善案についてお悩みの方必見です。どの製品を売れば利益につながるか、どこまで値下げができるかなど、売り上げと経費のバランスを見るのに最適な損益分岐点の知識を身につけ、利益を創出できる会社作りをしましょう！

【日時】

令和3年2月2日（火）
13：30～16：30

【定員】

40名

【対象者】

経営者、経営幹部、営業部門長、
営業担当者、新規事業開発担当者
※「要点集中！決算書の見方研修」を受講
した方、または同等の知識のある方

【受講方法】

Zoom

※後日参加URLをご案内します

【受講料】

会員 4,600円
一般 5,700円

【主催】

(公財)埼玉県産業振興公社
研修・情報G
TEL 048-647-4087
メール kensyu@saitama-j.or.jp

【カリキュラム】

1. 損益分岐点①～変動費と固定費の区分

- 変動費と固定費の区分が問題点を浮き彫りにする
- 固定費・変動費とは
- 限界利益・限界利益率とは
- 損益分岐点の算出の例題
- 損益計算書の構造と変動費・固定費の区分対象
- 変動費と固定費の区分が実務的に役立つ
- 限界利益率は $1 - (\text{変動費} \div \text{売上高})$ に置き換える

2. 損益分岐点②～応用式が役に立つ

- 損益分岐点を小さくするには
- 収益上のゆとり（経営安全率）を見よう
- 損益分岐点（トントンの売上高）の応用式は役立つ
- 固定費の変化を見る注意点

3. 利益計画・資金計画

利益計画の基礎、条件変化への対応

4. 事例分析

【講師】

税理士法人 Triple Win 代表社員税理士 堀江 亮佑 氏
2014年税理士登録。会社経営に真に貢献できる税理士像を目指し、税理士業務のみならず、セミナー活動にも力を注いでいる。

税理士法人 Triple Win 社員税理士 堀江 國明 氏

1985年税理士登録。現在、税理士業務の他に研修会やセミナー等における講演活動を積極的に行っている。

お申し込みは下記メールフォームもしくはホームページからお申込みください。

メールフォーム

<https://forms.gle/gduHMemnXDXsmo7E9>



ホームページ

<https://www.saitama-j.or.jp/kensyu/20kui/>

当セミナーではFAX
でのお申込みはお受けいたしかねます。

個人情報の利用目的のご案内
当公社は個人情報を、以下の目的で利用させていただきます。また、募集活動で入手した情報は、当公社の事業で使用し管理します。
・研修やイベントなどに関する情報のご案内（送付を含みます）
・各種相談やお問い合わせに関する対応など
・公社が実施する各種調査の公表
※公表する際は特定の個人を識別できないように配慮します
・研修の運営上必要となる受講生名簿・受付簿の作成
※申込書にご記入いただいた範囲内で受講者名簿として講師に提出します。
もし差し支えがある場合、事前にお申し出ください。